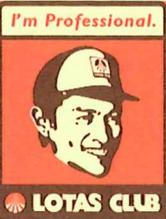




2026年3月号

# ロータス東海の ちいらしっこ通信



## 今月のちいらしっこ話

### 【おばあさん、壊れた車椅子】

ある日、アフリカのケニアの小さな村で、少年サミュエルは、壊れた車椅子に乗っているおばあさんを見かけました。ガタガタと音を立てながら、彼女は毎日4キロ先の井戸まで水を汲みに通っていたのです。その姿に、サミュエルの胸はきゅつと締めつけられました。「なんで大人たちは誰も助けないんだろう…」

そう思ったサミュエルは、放課後こっそり、おばあさんの車椅子を観察し始めました。そして自分の宝物だった自転車のペダルとチェーンを取り外し、工具もない中、試行錯誤で修理を始めたのです。

手は油で真っ黒になり、指に何度も小さな傷ができました。それでも彼は、「おばあさんが少しでも楽になりますように」と、毎晩祈るような気持ちで手を動かし続けました。

数日後の朝、おばあさんが井戸へ向かおうとしたとき、車椅子には見たこともないペダルが付き、軽やかに動き始めました。

「どうして？ まるで魔法みたい…」と涙ぐむおばあさん。そばで見ていたサミュエルは、

「恥ずかしそうに笑いながら言いました。」

「僕がちよつと…やってみただけです。」

その言葉と笑顔に、村の人々の心が動きました。「この子のために何かしたい」と、誰もが工具や材料を持ち寄り、修理の手伝いが始まりました。

やがてサミュエルは「若きエンジニア」と呼ばれるようになり、村中の壊れた車椅子や自転車を直しては、みんなの暮らしを明るくしていききました。「小さな優しさが、大きな未来を動かすんだ」

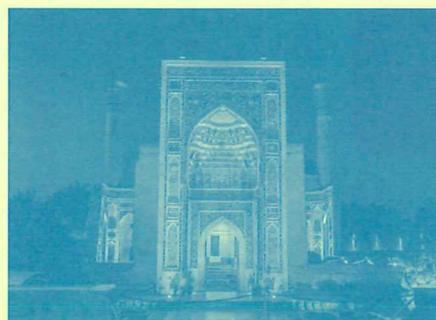
そう語る彼の瞳は、今日もまっすぐに未来を見つめています。



## ロータス世界遺産クラブ

### 文化交差点サマルカンド

#### (ウズベキスタン)



は、当時の高度な建築技術と美意識を今に伝えていきます。中でもティムールの眠るグーリ・アミール廟や、青空に映えるビビハニム・モスクは必見の存在です。

また、賑やかなバザールを歩けば、スパイスやドライフルーツの香りが漂い、活気あふれる人々の暮らしを体感できます。昼と夜で表情を変える街並みは幻想的で、まるで歴史の中を旅しているかのよう。さらに星空の下でライトアップされた建築群は一層輝きを増し、まるで宝石のように闇夜に浮かび上がります。その美しさに包まれると、時を超えて続く人々の営みと文化の息吹を感じ、旅人の心に深い余韻を刻むことでしょう。

青の都とも称され、街の中心にあるレジスタン広場には、青いタイルで装飾された三つの神学校が並び、その壮麗さは訪れる人を圧倒します。ティムール帝国時代には政治と文化の中心地として多くの学者や芸術家が集い、東西文化の交流拠点となりました。巨大なモスクや霊廟の壁面に輝くモザイクや幾何学模様

サマルカンドを訪れば、文化と歴史が溶け合う壮大な物語に心を奪われ、忘れられない体験となるはず。

【頭の体操今月のなぞなぞ】①車の調子を聞いてくる化粧品ってなんだ？ ②頭がいい人が得意な楽器ってなんだ？ ③花を借りるともらえる野菜ってなんだ？ ④議員電車にいる鳥ってなんだ？

ロータスクラブはCO2削減に取り組んでいます



## わかちちゃんの 世界のビール

ハイネケン(オランダ)

ハイネケンはオランダを代表するビールで、1864年にアムステルダムで若き実業家ジエラルド・ハイネケンによって醸造が始まりました。彼は品質に強くこだわり、独自の発酵方法を確立したことで、爽やかで安定した味わいを実現しました。

ハイネケンの特徴は、透き通るような黄金色とフレッシュな香り、そして軽快な苦味。クセが少なく飲みやすいため、国境を越えて世界190以上の国で親しまれています。緑色のボトルに赤い星のロゴは一目でわかるアイコンとなり、国際的な場面でも「世界のビール」として存在感を放っています。

そんなハイネケンにぴったりのおつまみは、オランダ名物の「ビターバレン」。クリームシチューのような具材をコロックケ風に丸めて揚げたスナックで、サクツとした衣と濃厚な中身をすつきりとしたビールが爽やかに流してくれます。また「ゴードチーズ」も欠かせません。コクのあるチーズの旨みとハイネケンの軽やかな苦味が絶妙に調和し、オランダらしい豊かな味わいを楽しませてくれます。



## まりちゃん 世界の行事食

### ◆ 3月「インドのグジャラティ・タリー」

「〜ホーリー祭の彩りプレート〜」インドでは春の訪れを祝う「ホーリー祭」が3月に盛大に行われます。色とりどりの色粉を投げ合い、厄を払い幸福を願うこの祝祭は、ヒンドゥー教の神話に由来し、人々の絆を深める行事でもあります。この日に欠かせない料理のひとつが「タリー」。特にグジャラート州の「グジャラティ・タリー」は、丸い金属皿にダール(豆カレー)、サブジ(野菜炒め)、ライス、チャパティ、スイーツなどが彩りよく並び定食形式で、味覚でも春の到来を感じさせます。ホーリーでは、甘く揚げたお菓子「グジャ」も登場し、素朴ながらも祝いの雰囲気を感じ上げます。家庭ごとに内容が異なるため、訪れる家々で異なるタリーを楽しめるのも魅力です。

◆豆知識「タリー」はヒンディー語で「皿」の意味。インド全土で親しまれています。グジャラティ版は特にベジタリアン料理が多く、甘味と酸味のバランスが特徴です。



## ちかちゃんの 世界の祭り

### フアヤス祭(スペイン)

スペイン・バレンシアで3月に開催される「フアヤス祭」は、春の訪れを祝うにぎやかなお祭りです。このお祭りは中世の大工たちが冬に使っていた木製の照明台を、春分の日に燃やしていたことが起源とされ、次第にユーモラスな人形「フアヤ」を作って燃やす伝統へと発展しました。

人々は陽気で情熱的で、音楽や花火を楽しみながら祭りに参加します。フアヤス祭では数百体の巨大な人形が街角に並び、夜には盛大な爆竹や花火で賑わい、最終日にはそれらを一斉に燃やして感動のクライマックスを迎えます。3月のバレンシアは日中15〜20℃前後と快適な気候で、街歩きにもぴったり。

おすすめグルメは、地元発祥の「パエリア・バレンシアーナ」。サフラン香るご飯に鶏肉やウサギ肉、インゲン豆が入って、旨味たっぷりです。さらに「ブニエロ」という揚げ菓子も人気で、サクツとした生地にとろけるチョコレートを付けて食べれば幸せな気分。フアヤス祭は、五感すべてで楽しむ春のごちそうのようなお祭りのようです。



We are Professional. ロータスクラブ加盟店

## (株) 東海自動車

〒036-8061 青森県弘前市神田1-5-4  
TEL: 0172-33-7700  
FAX: 0172-32-7171  
発行人: 福士 幹規

「め〜コーヒーまだ飲みに来てね〜人はえぐ来い〜」  
特典いっぱい「友の会」会員募集中です。  
マイカーリースも好評受付中!!  
営業時間 8:30~17:30  
定休日: 日曜日・祝日